

株式会社まちづくり三鷹

所在地 : 三鷹市下連雀三丁目 38-4 三鷹産業プラザ2階

業種 : 三鷹市第三セクター

従業員数 : 男性 20 名 女子 44 名 計 64 名 (うち パート 12 名) ※平成 31 年 1 月 1 日現在

業務内容 : ①まちづくりの総合支援 ②駐輪場・駐車場の管理運営 ③ビル・テナントの管理運営 等

(取組の表題)

働き方改革 2 年目の成果

<当社の課題>

① 必ず残業が発生してしまう環境

就業時間が 8 : 30 ~ 17 : 30 に固定されているが、夜間の仕事が多いため、どうしても残業が多くなる。
(IT システムのヘルプデスクを 20 時 15 分まで営業、19 時以降に始まる夜の会議が多い 等)

② 自分の勤怠情報が見えない

残業と有給休暇取得の状況は、毎月 1 回だけ配布される紙の出勤簿で確認しているため、月の途中で残業状況をチェックできない。日々の勤怠管理意識が希薄になりがちとなる。



<取組内容>

働き方改革 1 年目は検討と準備に取り組み、2 年目は以下の内容を実行しました。

① 時差勤務制度の導入 (平成 30 年 8 月 ~)

その日の業務内容に応じて、早番・遅番を選択できるようにした。
標準 (8 : 30 ~ 17 : 30)、早番 (8 : 00 ~ 17 : 00)、遅番 (11 : 00 ~ 20 : 00)

② 勤怠情報の見える化 (平成 30 年 8 月 ~)

新しい勤怠管理システムを導入し、残業・休暇の状況をリアルタイムで把握できるようにした。
その結果、

8 月から 1 月 (6 か月) の残業時間が、前年比 510 時間減少した。(1 人あたり毎月 4 時間の削減)
早番・遅番は導入から 6 か月で 128 回利用され、324 時間の残業削減効果があった。
勤怠の見える化により、勤怠管理の意識が高まっただけでなく、業務効率化の提案が増えている。
会社は、社員の業務効率化による残業削減を評価して、12 月の賞与に業務効率化手当を加算した。

<従業員の声>

夜遅くまで勤務する日は 11 : 00 出社を選択できるようになったので、体調管理が楽になりました。
新しい勤怠管理システムは、残業や休暇の状況が日々確認できるので助かります。

<今後の展望>

- ・副業・兼業解禁に向けた調査研究を進めます。
- ・RPA を導入して単純作業を自動化し、自動化できない仕事に集中して取り組みます。
- ・平成 30 年 12 月、三鷹産業プラザ 3 階にオープンしたサテライトオフィスの利用を促進します。
- ・三鷹のイメージが、「住みやすい街」だけでなく、「働きやすい街」にも発展するように貢献します。